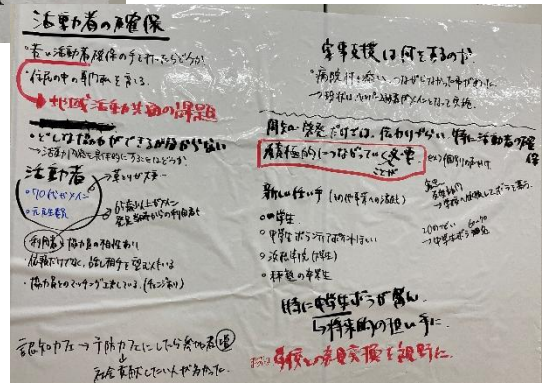
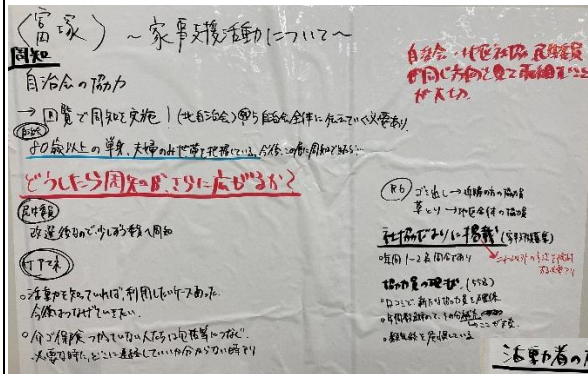


生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター和合担当圏域レベル）

開催報告書

1 開催日時	令和8年1月26日（月） 9時30分 ～ 11時00分
2 開催場所	和合せいれいの里 研修センター
3 参加者	委員9名 関係機関21名
4 協議の内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 生活支援体制づくり協議体会長</p> <p>3. 意見交換・協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の振り返り (事務局)前回の協議体の議事録を基に説明。 ・ グループワーク※和合・住吉、富塚の2グループに分かれて実施 <p>【富塚地区】 家事支援活動について 《周知》 (委員)北自治会では家事支援活動のチラシを住民向けに修正し、回覧で周知を実施した。今後は、自治連として富塚地区内全体に伝えていく必要がある。自治会では、80歳以上の単身、夫婦のみ高齢者世帯を把握しているためそこにピンポイントで伝えていくことができればよい。 (委員)自治会の回覧や民生委員、地区社協など様々な場面でいろんな人から継続して周知を続けていくことが必要ではないか。特に民生委員は改選後のため周知していくタイミングが良いと思う。 (関係機関)家事支援活動を知っていれば利用相談したい方のケースもあった。こういう場で初めて知ることあったため今後は情報として持ち、繋げていきたい。 ⇒家事支援活動については、広報誌、回覧などで目に入る機会を継続して作っていくこととなる。</p> <p>《協力員の募集》 (委員)ごみだしは、近隣の方の協力が多く、草取りは地区全体から協力者を調整している。 現在は、地区社協だよりのみの募集。これ以外の周知方法を検討していく必要がある。 現在協力員は55名。口コミで新たな協力員を確保している。年間数人やめてしまうためその補充が大変。現在はなんとか活動できているが、2、3年後を危惧している。 活動者→70代がメイン。元民生児童委員が多い。 若い世代の活動者を確保していく必要がある。 →どんな協力ができるのか見えたらよいのではないか。 (関係機関)お互い様の気持ちが大切だと思うため、認知症予防カフェに来てくれる参加者は予防のために社会貢献したいと思っている方が多いため周知できるのではないか。 若い世代であれば学生ボランティアはどうか。</p>

(委員)中学生は地区社協の友愛訪問にもボランティアとして参加してくれている。将来の担い手として検討の余地はあるかもしれない。学校との意見交換が今後あるため学校に話しを出してみる。
 ⇒活動者の確保に向けて検討していく。



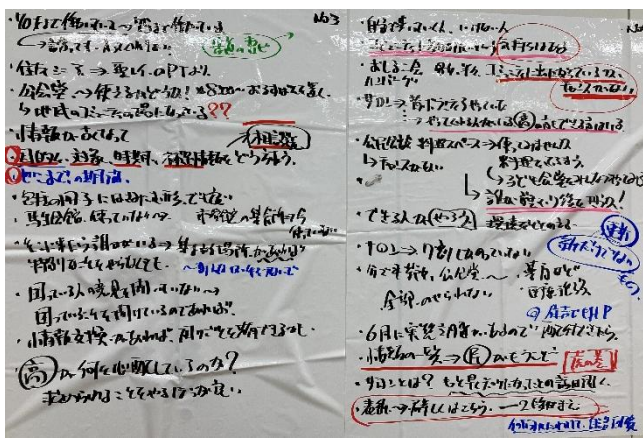
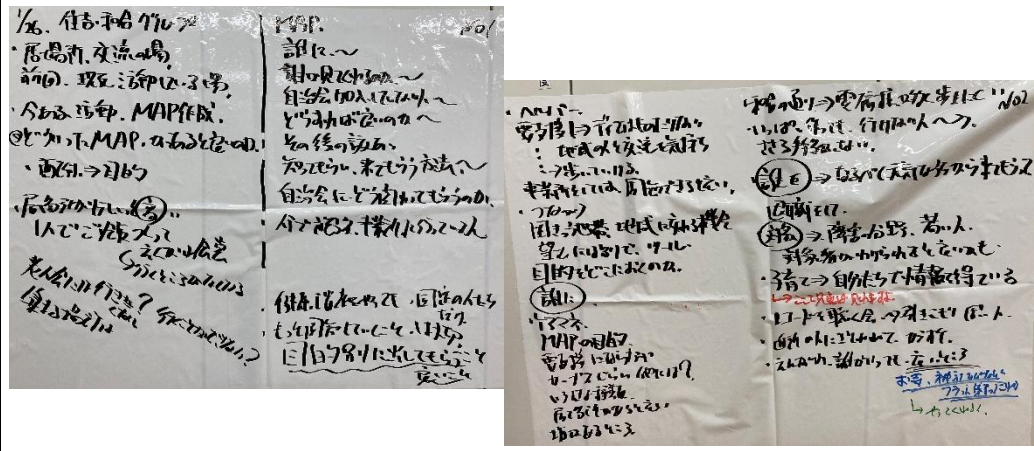
【住吉・和合地区】

(委員)シニアクラブやサロンなどの集まる場所には行きたくないと思っている方もいるのではないかな。それとも行くことができないのか。
 活動を行っていても固定メンバーのみの参加となってしまうため、もっといろんな方が来てもらえるよう周知は必要。
 コミュニティに参加したいという気持ちはある、チャンスがない方もいる。
 サロンなども高齢者の方でもできる方はいる。
 もっと早く知りたかったとの話しも聞く。
 公民館などの活用がされればよいが、何かを行っても誰が旗振りをし、あとを担っていくのが課題となる。
 →できる人がやろう。という意識環境を整えていく必要がある。
 本当に困っている方の意見が聞けていない。高齢者が何を心配しているのか、求められていることをやるほうがよいのではないかな。

《マップについて》

(委員)対象、目的、配布、連絡先などを検討していく必要があるのではないかな。
 また、更新も必要となってくるのか。
 目的別に周知していくこともよいのではないかな。
 包括が作成している冊子に挟み込むのもよいのではないかな。
 紙媒体だけでない周知も欲しい。
 6月に民生委員として実態調査があるためそこで配布できたらよい。
 何度か分けて回覧も可能。
 (関係機関)デイサービスだけでは物足りず、地域住民との交流をしたい人もいる。地域の場所として周知できたらいい。
 困窮世帯も地域に交わる機会が必要だと思う。知ってもらおう一つのツールと

いて活用ができるのではないか。
 (委員)なるべく元気なうちから来てもらうほうが良い。障がいのある方や若い
 世帯にも伝わるとよい。



4. その他
 5. 閉会

5 今後の見通し・
 必要な対応

- 【富塚地区】
- ・活動者の確保や活動を継続していくためにどうしていくか、ボランティア活動に対してハードルが高くなるような工夫、検討を進めていく。
- 【住吉和合地区】
- ・地域の出かける、交流できる場所の周知としてマップ作成に向けて話し合いを進めていく。対象や目的、情報など具体的に検討していく。